

1. 文化の中心「種子島」と「からいも」



種子島開発総合センター収蔵「火縄銃」

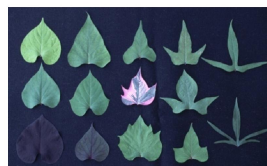
西之表市指定文化財「ヨンシー踊り」

種子島は、太古の昔から南島の中心であり、文化の中心地でした。種子島の周囲を流れる黒潮は、様々な文化を種子島に伝え、文化を育んできました。その代表格は、なんと言っても「鉄砲」であることに間違いありません。「鉄砲伝来」は、その後の日本の歴史を変えてしまうほどの大きな影響力がありました。

また、種子島は「民俗芸能の宝庫」といわれるほど、数多くの民俗芸能があります。西之表市指定文化財に指定されている「ヨンシー踊り」は、遠く琉球より江戸時代の終わりごろ種子島に伝わったのではないかとされています。

そして、現在でも大切に生産されている作物も伝来してきました。

それこそが、今回の主役「カライモ」です。カライモが、種子島に伝来したのは、1698年ことでした。当時の島主種子島久基が琉球より取り寄せたという「カライモ」から物語は始まっていきます。



カライモは、品種によって、様々な実、葉の形があり、果肉の色も多種多様である。



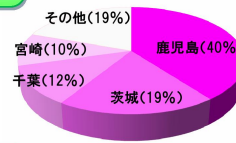
カライモって、どんな食べ物？

カライモは、九州をはじめ沖縄、関東において重要な畑作物です!!

- ・ 干ばつ、台風などの自然災害が多い地域で生産が安定
- ・ 粗放的な栽培でも生産性が高い夏畑作物として重要
- ・ 肥料や農業投入量が少なく、環境への負荷が少ない
- ・ 用途や加工利用の幅が広く、農業・食品関連産業を支える

日本の主要産地

- 1 鹿児島 (37万4,000t)
- 2 茨城 (18万500t)
- 3 千葉 (11万100t)
- 4 宮崎 (9万3,900t)
- その他 (18万3,800t)



世界の主要産地

- 1 中国
 - 2 ウガンダ
 - 3 ナイジェリア
 - 4 インドネシア
 - 5 タンザニア
 - 6 ベトナム
 - …
 - 12 日本
- 平成25年産かんしょの作付面積及び収穫量
平成22年統計

～ カライモクイズ ～

問題1

「甘藷伝来」に貢献した種子島久基は、鎌倉時代から種子島を治めていた種子島家の島主です。では久基は、何代目の島主でしょうか？

答え → 2のパネルを見てね!

種子島年表

世紀	時代	出来事
3		
4	古墳	
5		
6		
7	飛鳥	677年 日本書紀に「種子島」が初登場
8	奈良	809年 種子島に慈達寺を創建する
9		
10	平安	
11		
12		
13	鎌倉	1201年 種子島氏の始祖「平基俊」が種子島の領主に
14		1331年 平時基が種子島に来島 5代島主になり「種子島時基」と称する
15	室町	
16	安土桃山	1543年 鉄砲伝来 1698年 甘藷伝来
17		
18	江戸	
19		1812年 伊能忠敬の種子島測量
20	明治	1885年 カシミア号漂着
21	昭和	1958年 西之表市 市制
21	平成	2015年 国民文化祭がこしま 開催

【カライモ】

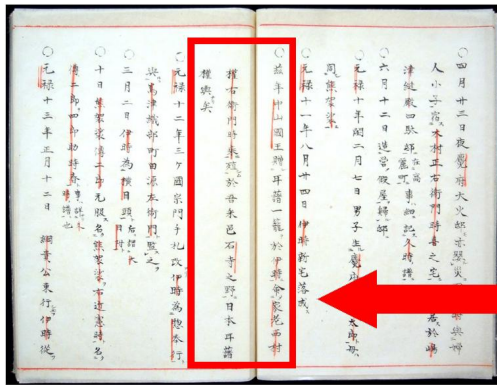
甘藷(サツマイモ)のこと。種子島では、カライモと呼ぶ。甘藷は、中国から琉球を経て種子島に伝来したことによる。当時、中国を「唐(から)の国」と呼んでいたためである。

【種子島】

鹿児島県内有人離島の中で最も東に位置し、人口(約33,000人)は奄美大島に次いで2番目に多く、面積は444.99km²で、奄美大島、屋久島に次いで3番目に大きい。日本では、10番目の面積を持つ。標高は最高点は282.4mで、海側から見ると殆ど平らにしか見えない。

2. 資料で見る「カライモ」の歴史

種子島家の歴史を記している「種子島家譜」には、以下のように記されています。



〈巻十二 十九代久基一より〉
 茲年（元禄十一・一六九八年） 中山国王 甘
 藷一籠を伊時（久基）に贈る 家老西村権右衛門
 時乗に命じて吾が采邑石寺の野に殖えしむ 日本
 甘藷の権興なり

【意味】

元禄11年、琉球王から贈られた甘藷を伊時（久基）が家老の西村権右衛門時乗に命じて石寺で栽培させた。これが、日本の甘藷栽培の始まりである。

久基は、度重なる飢饉の救荒作物として、琉球で栽培されているカライモに関心を寄せてました。元禄11年（1698）3月、琉球王尚貞に懇望して1籠の寄贈を受け、栽培を命じる。カライモの栽培が可能と分かると、島内の普及に尽力を尽くします。

以後、薩摩藩（鹿児島）はもとより日本全国に広まった。鹿児島県山川の前田利右衛門の甘藷栽培は7年後。「甘藷先生」と呼ばれた青木昆陽の誕生は、この年です。

種子島家譜

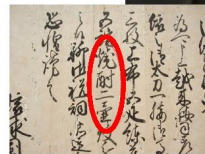


種子島家初代の信基（平清盛のひ孫）が鎌倉時代の頃に、種子、屋久、永良部等十二島の領主となって以来、27代守時の明治24年（1891）の記事まで約700年間の種子島の政治経済、法制、宗教、年中行事、島内の諸事実のほか、鹿児島や大阪などの対外関係、外国との交渉を物語る貴重な史料となっている。

鹿児島県指定文化財（有形文化財）
 昭和39年3月23日指定

琉球との交易

種子島と琉球は、古くから交易を行っている。それを示す資料がある。



一部拡大

琉球国司 尚貞王から、18代久時公へ家督後継者（久基）が決まったことへのお祝いとして、太刀や上質の布などととも焼酎2壺贈られている。甘藷伝来直前の時代なので、米焼酎（泡盛）かと推測される。

～ カライモクイズ ～

問題2

カライモの普及に尽力を付くした種子島久基を祀っている神社は、何神社でしょうか？

答え → 3のパネルを見てね！

問題1の答え

19代目

※「鉄砲伝来」の島主時亮は、14代目

種子島家歴代の島主

代数	島主名	ふりがな
初代	信基	のぶもと
2代	信式	のぶのり
3代	信真	のぶまさ
4代	真時	まさとき
5代	時基	ときもと
6代	時亮	ときみつ
7代	頼時	よりとき
8代	清時	きよとき
9代	時長	ときなが
10代	幡時	はたとき
11代	時氏	ときうじ
12代	忠時	ただとき
13代	恵時	しげとき
14代	時亮	ときたか
15代	時次	ときつぐ
16代	久時	ひさとき
17代	忠時	ただとき
18代	久時	ひさとき
19代	久基	ひさもと
20代	久達	ひさたつ
21代	久芳	ひさよし
22代	久照	ひさてる
23代	久道	ひさみち
24代	久珍	ひさみつ
25代	久尚	ひさたか
26代	時丸	ときまる
27代	守時	もりとき
28代	時望	ときもち
29代	時邦	ときくに

3. カライモの神様とカライモ神社



カライモ神社

種子島久基

寛文4年(1664)～寛保元年(1741)

親:18代久時の子

子:19代久達 他

幼名:鶴袈裟丸

初名:義時・伊時

通称:三郎二郎・左内・禪正・号カライモ

家統を継いだのは、宝永7年(1710)6月、46歳の時

種子島久基の功績

▶カライモ栽培に尽力

カライモは、2～3年で島内に広がったとされ、その後、薩摩に伝播したとされる。享保18年(1733)は、西日本で餓死する者が十万余人であったが、薩摩はカライモによって、死を免れる者が多かったといわれている。



▶製塩、製鉄の促進

製塩、製鉄は初代信基の時から始められている。特に製鉄は、現和村(現在:現和武部地区)に製鉄所を起こし、大いに拡張して民利への拡大を図った。種子島は、鉄浜海岸など砂鉄が取れる海岸が多かった。



▶その他

- ・ハゼの栽培
- ・蠶の生産
- ・製薬、蚕業
- ・植林・牧畜
- ・・・等

久基は、文武ともに優れ、多くの島民から慕われていた。その中でも、カライモをいち早く島内に広め、島民の飢えを凌いだ功績はとてつ大きい。晩年、久基は名を「カライモ」と改め「カライモ神社」に祀られている。人々は、久基のことを「いも殿様」「カライモの神様」と呼び、カライモ神社のことを「カライモ神社」と名づけ、その功績を今に伝えている。

おまとはじめしき

大的始式



大的始式

12代島主忠時が明応9年(1500)弓の指南役として招いた武田筑後守光長が翌文亀元年(1501)宮中で行われた御的始式を伝えたのがその起源であり、すでに500年以上にわたって継がれている。

カライモ神社では毎年1月11日午後6時から大的始式を行っている。カライモ神社の弓場で直径5尺8寸(1m75cm)の大的を射て、その年の悪魔災難などを払い清め、島内の平安・無病息災を祈願する古式床しい行事である。

鹿児島県指定文化財(無形民俗文化財)
平成4年3月23日指定

種子島家墓地



御坊墓地



御拝塔墓地

カライモ神社のすぐ横には種子島家墓地「御拝塔墓地」がある。歴代の種子島家島主を祀っている。八坂神社の北端には、同じく種子島家墓地「御坊墓地」もあり、2カ所とも市指定文化財になっている。

西之表市指定文化財(史跡)
昭和34年8月10日指定

～カライモクイズ～

問題3

甘藷が伝来した際、種子島で初めて栽培が始まります。その場所は、西之表市のどこの地域でしょうか？

答え → 4のパネルを見てね！

問題2の答え

せいりん

カライモ神社

【御祭神】種子島久基(号はカライモ)
カライモ神社は、文久3年(1863年)松寿院が久基公の甘藷栽培などの数々の偉業に感謝し、その功績を後世に伝えるため本願寺の射場(現在:熊毛支庁場所)に創建され、その後、現在地に移転されている。



しょうじゅうん

【松寿院】

松寿院は寛政9年(1797)26代薩摩藩主、島津斉宣の二女として鹿児島に生まれ、文化8年(1811)23代島主となる久道と結婚。

32歳で夫が死別

し、それ以降は24代久珍が島主となるまで、島民のためにひたすら貢献し続けた。



4. 大瀬休左衛門とカライモ栽培



大瀬休左衛門より
9代子孫の大瀬良行さん

初めてカライモを栽培したといわれる畑

久基よりカライモの栽培を命じられたのは、下石寺の農民、大瀬休左衛門でした。休左衛門は、苦勞の末、カライモの栽培に成功。カライモは、これを期に島内、そして全国へと広がっていきます。写真は、島内で初めて休左衛門が栽培したという畑です。現在も、子孫である大瀬家が大切に守っています。

この畑を中心に作られたカライモは、毎年10月18日に久基を祀る栖林神社に献上されます。

同じ時期、下石寺の願成就では、大瀬休左衛門夫婦の墓の前に今年とれたカライモを山積みにして、豊作祝いと先祖の感謝を込めて供えます。

以前は、大瀬家だけ行っていましたが、現在は地域住民全員で行っています。



大瀬休左衛門夫婦の墓に
祀ってあるカライモ

大瀬良行さんの話

当時、カライモの栽培を命じられたとき、大変名譽なことである一方、初めての作物を栽培することに想像も付かないほど不安だったのではないのでしょうか。それでも、先祖はカライモの栽培に成功し、そこから全国に広がったといわれると、とても誇りに思います。先祖が残してくれたこの功績を私たちが次の世代に伝え続け、畑や墓を守っていきたいと思います。

日本甘藷栽培初地之碑



下石寺神社すぐ近く国道58号線沿いに日本甘藷栽培初地之碑がある。

石碑の文

「本邦甘藷の栽培には実に輪が種子島に創まり、種子島は我が下石寺を以て試作の地と為す。故に題して日本甘藷栽培初地之碑と日ふ。初め栖林公、治を図るや、志済民に在り。嘗て旅人より甘藷の利を聞き、折簡して之を求む。元禄十一年戊寅三月。中山王尚貞一籠を贈る・・・」

大瀬休左衛門夫婦の墓

下石寺地区の共同墓地の一角に大瀬休左衛門夫婦の墓がある。今でも、子孫の方々がお墓に花を供え大切に管理している。



久基が救荒作物として取り寄せ



た甘藷を、休左衛門が苦心の末、

下石寺の地で元禄10年（1698）日本で初めて栽培に成功させた功績に対し褒美として久基公から下賜されたものである。

以後、甘藷の栽培により種子島は飢饉から救われることとなった。

鹿児島県指定文化財（無形民俗文化財）
平成4年3月23日指定

～ カライモクイズ ～

問題4

カライモは、ある植物と同じ科です。それは、次の内どれでしょうか？

1. ヒマワリ
2. ヒルガオ
3. バラ

答え → 5のパネルを見てね！

問題3の答え

下石寺地区

【大瀬休左衛門】

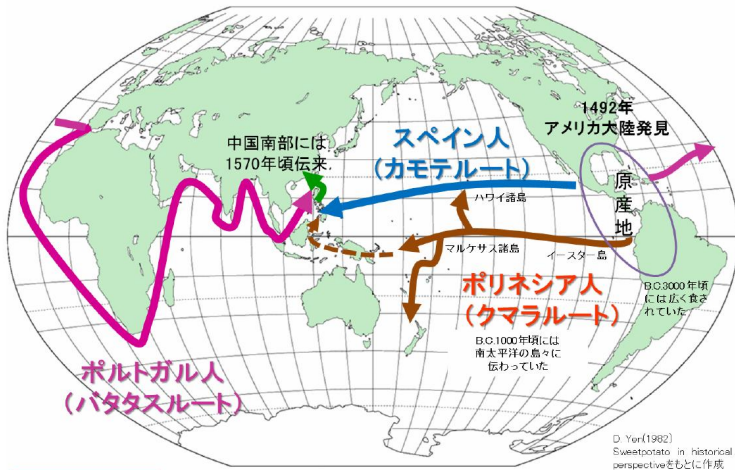
大瀬休左衛門は、元和7年（1621）生まれ、製塩を仕事とし、傍ら農業も営んでいた。誠実勤働で村内の人望を一身に集め、久基公に知遇を得ていた。甘藷栽培の時は、すでに77歳の高齢であった。元禄13年、80歳で永眠。

【久基より与えられた褒美】

- ・「大瀬」という姓
- ・短刀一丁
- ・休左衛門夫婦の肖像墓（生前に作る墓）

※ 当時、農民が姓を名乗ることや肖像墓を作ることにはなかった。それだけ、休左衛門のカライモ栽培成功の功績は大きかったことが伺える。

5. カライモのルーツを探る



起源を探して

カライモの起源は、現在のアンデス山麓（エクアドル、ペルー海岸にかけて）とされています。その後、世界中に伝播したとされていますが、詳しいルートは分かっていません。伝播ルートが存在します。

- ルート1 クラマ・ルート …… ヨーロッパ人が中南米にくる前から伝播した
- ルート2 バタタス・ルート …… 1492年コロンブスがヨーロッパに持って帰った
- ルート3 カモテ・ルート …… スペイン人がフィリピンに伝えた

詳しいルートは分かっていない

アジアへの伝播

カライモのアジア伝播は、大航海時代のポルトガル、スペインが影響したとされています。特に、スペインの植民地だったフィリピンでは、メキシコより直接運ばれたともいわれ、後に16世紀末中国に伝播しました。（特に中国南部では環境に適応し急速に普及）

琉球へ伝来

1605年 琉球（現在：沖縄県）に初渡来

琉球へは野國總管が、中国福建省から北谷間の野園（現在：嘉手納町）に持ち帰ったとされています。那覇の地頭だった儀間真常の功績もあり、15年間で琉球ほぼ全域に広がったとされる。

カライモの呼び方

カライモは、世界各国では以下のように呼ばれています。

言語	表記	日本語読み
日本語	甘藷（サツマイモ）	カンショ
英語	Sweet potato	スイーツ ポテト
中国語	红薯	ホンショウ
スペイン語	Camote	カモテ
ポルトガル語	Batata doce	バタタ ドス
オランダ語	Zoete aardappel	ズッテ アーダポ
韓国語	고구마	コグマ
インドネシア語	Ubi jalar	ウ ビジャラ
ベトナム語	Khoai lang	ク アイラン
ヒンドゥー語	मिठा आलू	ミン タール

カライモの学名命名の歴史

カライモの学名は、イポメア・バタータスです。しかし、この学名になるまで、カライモは多くの学者によって、いろいろな学名がつけられました。

～ 学名命名年表 ～

- 1753年 分類学の創始者リンネ(Linnaeus)によって、分類学的に識別コンボルプス・バタータス(*Convolvulus batatas*)と命名
- 1784年 リンネと弟子ツェンベリ(Thunberg)によって、コンボルプス・エデュリス(*Convolvulus edulis*)とされる
- 1834年 学者ショワジー(Choisy)が、カライモと形態的に類似する植物群をBatatas群とする概念を発表し、バタータス・エデュリス(*Batatas edulis*)と命名。
- 現在 分類学が進展し、イポメア・バタータス(*Ipomoea batatas*(L.)Lam)とされる。
- 日本語で“慢性地地下部にイモができる植物”という意味

現在の学名

イポメア・バタータス (*Ipomoea batatas*(L.)Lam)

- ・ Ipomoea サツマイモ属の意味
- ・ Batatas “イモ” という意味が含まれる
- ・ (L.) リンネの名前の頭文字
- ・ Lam ラマルクの名前の短縮形

※ ラマルク(Lamarck)とは、リンネが*Convolvulus*属に位置づけたサツマイモを、*Ipomoea*属に移した学者。

～ カライモクイズ ～

問題5

日本初栽培地として知られる種子島ですが、種子島より古い時代に栽培された記録された県があります。何県でしょうか？

※ 沖縄県ではありません。沖縄県は当時、「琉球国」という日本とは違う国でした。

答え → 6のパネルを見てね！

問題3の答え

2. ヒルガオ

カライモは、ヒルガオの仲間です。現在のカライモ品種改良でもヒルガオは使用されています。



【ヨーロッパにはカライモはない？】

カライモは、温暖な地域でしか育たないので、ヨーロッパでは、生産されていない。（ポルトガルの一部の地域）
※ ヨーロッパは寒い地区で育てるジャガイモの方が生産されている

のくにそうかん 【野國總管】

野園村（現：嘉手納町）に生まれ育つ。生涯についてほとんど明らかになっていない。中国に渡りイモを持ち帰り飢饉から人々を救った。「芋大王」（芋は「イモ」のこと）と呼ばれ、「沖縄産業の恩人」と一人として称えられている。

【リンネ】

スウェーデン出身の科学者。“分類学の父”といわれる。植物相と動物相を識別・記録する方法を発展させ、その分類体系に基づき約7700種の植物と4400種の動物を命名した。

6. カライモの全国への広まり

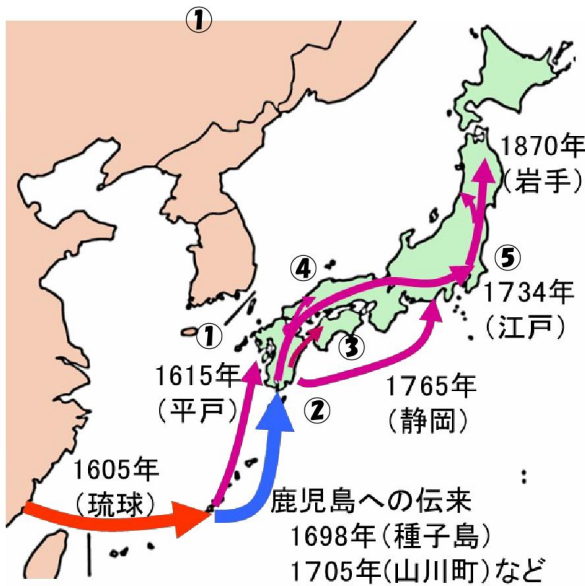
日本各地の広まり

① ウィリアム・アダムズ

長崎県の平戸には、種子島よりも早く、カライモが栽培されたという記録がある。イギリス人のウィリアム・アダムスが琉球よりお土産として買ってきたカライモを、1615年、平戸のイギリス商會館長コックスが試しに栽培したと日記に書かれている。しかし、この栽培されたとされる甘藷は、記録上に見られるだけで、そこから地域に広まった様子はない。

② 前田 利右衛門

鹿児島県の山川町出身の前田利右衛門は琉球を訪れた際、琉球の地で栽培されていた甘藷に感動し、1705年、郷里に持ち帰って栽培に取り組み栽培に成功させた。鹿児島島の乾燥したやせた土地に育つカライモは、台風にも強く、鹿児島全土に重要作物として広まった。その後サツマイモとして、全国に広がったとされる。利右衛門は、「甘藷翁」と感謝の気持ちをこめて地元の人々に呼ばれている。



③ 下見 吉十郎

愛媛県の瀬戸内海にある大三島出身の下見吉十郎は、1711年、薩摩を旅をした際、カライモと出会い、郷里で栽培に取り組んだ。カライモは収穫率が多い品種だったため、近隣の島々に広がっている。この時代、各地で飢饉が起こり、餓死、*間引きにより多くの人々が亡くなった。しかし、大三島だけは、カライモのおかげで逆に人口が増加している。吉十郎は「甘藷地蔵」と呼ばれ、人々の暮らしを癒している。

*間引き…親が我が子を殺してしまうこと。

④ 井戸 正明

島根県にも甘藷を伝えた恩人「いも代官」井戸正明という人がいた。飢饉により人々の生活が苦しんでいたとき、薩摩よりカライモを取り寄せ、栽培を試みる。しかし、カライモは寒い土地では育ちにくく飢饉を救えるまでには至らなかった。正明は自分の命に代え農民に尽くした。死後、寒い地方でも育つ栽培法が見つかり、近隣の村々に伝わったとされる。

⑤ 青木 昆陽

「甘藷先生」として名の知られる青木昆陽は、薩摩の国よりカライモを取り寄せ、関東を中心に「サツマイモ」の名で関東中心に広めた。飢饉の救護策として将軍徳川吉宗より命を受け、1735年、最初のカライモの栽培に成功。この功績により、カライモは一気に加速して、全国に広まる。昆陽は、その後、蘭学の基礎を築いた学者としても知られるようになる。

～ カライモクイズ～

問題6

西之表市が種子島からも伝来300周年記念で応募をかけ、市民がほとんど知っているカライモソングがあります。そのタイトルはなんでしょうか？

答え → 7のパネルを見てね！

問題7の答え

長崎県

日本におけるカライモ初伝来地は、現在でも多く存在します。長崎、鹿児島、愛媛など。ただ、残念ながら当時を記す資料が残っていません。また、その場所で栽培され日本に広がったのかといわれると疑問が多く残ります。ただ、甘藷は飢饉の救護策として、鹿児島起点からカライモが全国に広まっていったことは間違いありません。



作物学者の戸町義次から

羽生俊助宛の手紙

昭和19年

羽生氏の質問への返答として、甘藷伝来について独自の考察を説明しているもの。青木昆陽先生が甘藷に関して有名なのは、関東圏に於いて栽培普及の功績を残したからであり、伝来そのものの創始者ではない。様々な説があるが、どれも明白ではない。私は栽培の研究者であり、歴史に関しては不勉強だが、久基公はもとより様々な先達が、大変な苦勞をして甘藷を普及させたことを肝に銘じている。という内容。

7. 現在のカライモ事業



市民体育祭で「からいもくん」を踊る園児たち

種子島のブランド“安納いも”

安納いもは、現在、種子島を代表するカライモです。

安納いもの特徴として、皮は赤みがかり、鮮やかなオレンジ色をしています。ゆっくり時間をかけて焼くとより一層美味しくなり、まるでクリームのような食感になります。糖度は、生の状態で16度にもなる安納いもですが、とても低カロリーで、カロテンや食物繊維をたっぷり含まれています。

安納いもブランド推進本部

消費者の皆様に安心・安全で、おいしい安納いもをお届けするために、生産者および西之表市・中種子町・南種子町の3市町と鹿児島県、JA種子屋久による「安納いもブランド推進本部」を平成22年7月29日に設立しました。栽培技術の向上はもとより、品質基準を島内で統一して管理・出荷する取組を行っています。



公認キャラクター

へにくん

こがねちゃん

安納いもスイーツサミット

現在、安納いもを使った町おこしも行っています。

安納いもスイーツサミットは、平成24年に始まった安納いもを使用した料理コンテストです。西之表市内の店舗が開催期間限定で販売し、市民一人一人の投票によりグランプリを決めます。

今年は、どの料理がグランプリになるのでしょうか？

種子島からいも伝来300周年

西之表市では、平成11年に「市政施行40周年・からいも伝来300周年記念式典」を行い、からいも関連の様々なイベントを開催しました。

この時、からいもソング歌詞を全国に公募し、最優秀賞に選ばれたのが「からいもくん」です。この歌は、西之表市の代表曲として、市民体育祭などで西之表市内の園児たちが踊るマ스ゲームの曲として使われています。現在でも、西之表市民に浸しられている曲の1つとなっています。



2014年グランプリ
サーフバー ドルフィンさんの
【安納いも生キャラメル】

問題6の答え

からいもくん

作詞 宮島あゆ美 作曲 渋谷麻美

①からいもイモイモいいもんだ
からいもイモイモいいもんだ
ほくは からいもいいもんだ
名前がからいもだからって
からくはなひよ
からくはなひよ 甘いもん
からいもイモイモいいもんだ
からいもイモイモいいもんだ

②からいもイモイモいいもんだ
めからいもイモイモいいもんだ
ほくは からいもいいもんだ
名前がからいもだって
からっほじゃなひよ
からっほじゃなひよ つまってる
からいもイモイモいいもんだ
からいもイモイモいいもんだ

③からいもイモイモいいもんだ
からいもイモイモいいもんだ
ほくは からいもいいもんだ
唐から来たから からいもさ
永い歴史の
永い歴史の 味がする
からいもイモイモいいもんだ
からいもイモイモいいもんだ

④からいもイモイモいいもんだ
からいもイモイモいいもんだ
ほくは からいもいいもんだ
だきびどいっしょにホッカホカさ
今日も からいも
今日も からいも おいしいよ
からいもイモイモいいもんだ
からいもイモイモいいもんだ

クイズは、これで終わりです！
君は、何問正解できたかな？